

研究会意見	事業内容
<p>・全国的に女性起業の支援を上手くできているところは少ない。<u>女性の起業促進のための相談・支援体制の整備</u>が必要。</p> <p>・時間制限がないのが当たり前ではなく、時間の途中で仕事をしていくということをしっかり宣言し進めていくことが大切で、<u>時間制約のある女性が活躍できる産業の創出も検討すべき。</u></p> <p style="text-align: right;">【女性活躍産業 G】</p>	<p>【女性起業拡大・新たなビジネスモデルの普及】</p> <p>○女性起業コーディネータ育成（755 千円）</p> <p>女性起業家をサポートする人材を育成するため、具体的事例に即した実践的な支援手法等に関するグループワーク等の研修を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象：各種支援機関、公益法人、NPO 等における起業支援業務従事者 ・回数：4 回 <p>○女性活躍ビジネスモデル普及促進（1,049 千円）</p> <p>新たなビジネスモデルで付加価値の高い事業を営む女性起業家を招へいし、若年世代の創業を促進する連続セミナー「創業塾」を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象：大学生や 20～30 代の女性、30 名程度 ・回数：3 回連続（心構え、事業計画、資金調達等）、1 コース <p>○女性ビジネスプランコンテスト開催（3,616 千円）</p> <p>ソーシャルビジネスに着目してコンテストを開催し、優秀なプランに対して事業化支援等を行う。また、成果発表会（基調講演、成果発表、パネルディスカッション）を開催し、女性の創業促進に向けた普及啓発を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表彰区分：優秀賞 3 件（県が委託する外部起業コンサルタントによる事業化支援）
<p>・製造業や建設業に対するイメージが悪いため、<u>実際の現場を見学し、働く人の生の声を聞く</u>「オープン工場」といった取組で、魅力をアピールすることが必要。</p> <p style="text-align: right;">【女性活躍産業 G】</p> <p>・モノづくり企業の魅力を発信するため、<u>小学生のころからの会社・工場見学を実施したり、女性の理系への進学を推奨したりしてほしい。</u></p> <p style="text-align: right;">【女性雇用促進 G】</p>	<p>【モノづくり現場魅力発信（モノづくり女子の増加）】</p> <p>○働く女子魅力発信（4,553 千円）</p> <p>モノづくり現場を女性が働く場所としてアピールするため、「モノづくり女子」が活躍する魅力ある町工場を調査するとともに、セミナーや町工場を体感する見学バスツアーを開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象：小学生高学年から中学生及びその保護者、教員等 ・回数：6 回
<p>・採用を増やしたくても、<u>理系の女子学生が少ないことが問題。理系を志す女性が増えるように、小・中学校の段階からの取組</u>が必要。</p> <p style="text-align: right;">【女性活躍産業 G】 【女性雇用促進 G】</p>	<p>【女子生徒の理系への興味喚起（理系女子の増加）】</p> <p>○少年少女発明クラブ女性指導員活躍促進（411 千円）</p> <p>少年少女発明クラブにおいて小学校低学年の指導に適任な女性指導員の活躍を促進するため、指導員となり得る女性技術者・OG 等を対象に、発明クラブの見学会、意見交換会を開催する。また、女性指導員を対象に、子どもへの指導のあり方・工夫を学ぶためのワークショップを開催する。</p>
	<p>○あいち・ウーマノミクス研究会開催（265 千円）</p> <p>引き続き研究会を開催し、現状、課題、取組の方向性を研究する。（各グループ年 2 回）</p>